

評価基準

審査項目			配点
企画提案に関する項目			
	本件業務の目的を理解した上で、実効性のある提案内容となっているか。	①	15
	集計・分析手法について、計画策定の基礎資料となるような創意工夫が見られるか。	②	15
	グループヒアリングの調査項目について、アンケート調査では捕捉できない障がい者のニーズを把握するために適切なものであるか。	③	20
	グループヒアリングについて、対象者の特性を理解し、正確な意見聴取が可能な手法となっているか。	④	10
提案価格に関する項目			
	提案内容が適切に計上されているか。	⑤	10
事業者に関する項目			
	事業を適切に実施できる体制の構築ができるか。	⑥	10
	過去に類似の調査業務を実施した経験があるか。	⑦	10
	過去にコールセンターを設置した実績があるか。	⑧	10
合計			100

審査項目ごとに、各委員（5名）の評価点を加算し、その合計値を審査項目の評価点とする。

評価点の合計が最も高く、350点以上の者1者を最適提案者として選定する。なお、該当者が2者以上あったときは、審査項目③の評価点が高い者を最適提案者として選定する。

委員の各審査項目評価方法は次のとおり。

- ・ 極めて良好 配点×1.0
- ・ 良好 配点×0.8
- ・ 普通 配点×0.6
- ・ やや不十分 配点×0.4
- ・ 不十分 配点×0.2
- ・ 提案無、評価不能 配点×0